

(1) 会議名

平成27年度第2回北杜市環境保全基金活用検討委員会

(2) 開催日時

平成27年11月20日(金) 午後1時30分～午後2時40分

(3) 開催場所

北杜市役所本庁舎西会議室

(4) 出席者

委員

協力企業代表者 中村淳(代理)
市民代表者 清水謙雄、舩木良
環境保全団体代表者 篠原充
環境保全団体代表者 跡部治賢
環境保全団体代表者 日下部健(代理)
環境保全団体代表者 増田直広
北杜市副市長 大芝正和
北杜市企画部長 菊原忍
(欠席者なし)

事業所管課

管財課長 中山晃彦
環境課環境保全担当リーダー 田丸敬一
環境課新エネルギー推進担当リーダー 末木陽一
林政課林政担当リーダー 浅川知海
観光・商工課観光施設担当リーダー 加藤郷志
観光・商工課観光振興担当リーダー 小澤永和
食と農の杜づくり課食育・地産地消担当 守屋学
まちづくり推進課建築開発指導担当リーダー 中山由郷
生涯学習課社会教育担当リーダー 平井伸一
須玉総合支所増富出張所総務担当 小澤義久

事務局

政策秘書課長 丸茂和彦
政策秘書課政策調整担当リーダー 水石正幸
政策秘書課政策調整担当 杉田雅彦

(5) 議題

- ・平成28年度基金活用事業の予算について
- ・基金活用状況報告会について
- ・その他
 - 1) 市民提案事業の募集時期について
 - 2) 協力金依頼状況について
 - 3) その他

(6) 公開・非公開の別 公開

(7) 傍聴人の数 1名

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 議事

議 長：傍聴希望者1名のため、公開について諮る。

委 員：異議なし。

議 長：会議録署名委員2名を指名。

議 長：「平成28年度基金活用事業の予算について」の説明を求める。

事務局：12事業について一括にて説明。

①「南アルプスユネスコエコパーク推進事業」における

○「尾白川等のゴミ撤去清掃事業」について

委 員：一般的な清掃活動との違いは。特別な目的は。

所管課：ゴミを捨てないよう啓発活動を行っているが、全てを抑止できないため、ゴミの撤去等行い、環境保全に努めていく。

委員：河川の維持管理者の責任において行うべき活動ではないか。

所管課：エコパークを推進する中での、市民のボランティア参加等を募り清掃活動する事業である。

委員：将来的に自主的な活動ができる方策につながれば、基金を使うのは良い。

○「エコパーク案内人育成講座」について

委員：成果や運用の考えは。

所管課：平成28年度は入門編・初級編を、平成29年度には上級編の講座を開催予定。上級編ではガイドの実践方法などを学び、将来的には実際にガイドをする場を作っていく計画である。

委員：ガイドの人数や内容など明確な計画があり、そのための手段であれば良い。

委員：市民であれば誰でも参加できるのか。市外ではなく北杜市民が要件となるのか。

所管課：参加者要件としてエコパークエリア内の方のみではないため、興味のある方、将来ガイドしたい方であれば誰でも参加可能。市外の方でも、将来北杜市に住んで案内人のできるのであれば、断らない。

委員：地域外の方が多く受講する可能性も有り、結果として市民になるのであればいいが、できれば市内の方や市内で働く方などが地域の魅力を再認識し、発信してもらえるよう計画してほしい。

所管課：了承。

○「PR、情報発信事業」について

委員：実施場所は『名水公園べるが』とあるが、この地域には『道の駅はくしゅう』があり、相当な来客数もあり費用対効果を考えた場合、こちらの方が効果的では。

所管課：『道の駅はくしゅう』については、すでに設置している情報発信コー

ナーをさらに充実させるとともに、尾白川溪谷や甲斐駒ヶ岳の入口となる『名水公園べるが』の展示館を活用し、情報の充実を図っていく予定。

委員：展示するだけか、エリアをPRする・ガイドするような案内人の配置は。

所管課：将来的には案内人を配置することを考えているが、まずは情報発信コーナーの充実と整備で計画している。

○「登山客入込状況調査機器設置事業」について

委員：人数をカウントする機械の設置か。

所管課：登山者カウンターというセンサー機器を、平成27年度に尾白川溪谷と精進ヶ滝の入口、平成28年度は甲斐駒ヶ岳と日向山の入口に設置し、登山者数を把握し、基礎資料とする。

○「子ども公民館劇場事業」について

委員：白州・武川小学校の児童が限定となっているが、それ以外の学校も聞けるなど、市内全域への波及は考えているか。

所管課：地域の魅力を再発見・再認識することが目的。それを情報として提供し、まずは、エコパークエリア内で発信していき、将来的には市全体へ広げていく予定。

②「環境教育推進事業」における「花育推進事業」について

委員：内容と目的は。

所管課：市内の保育園、小・中学校へ、花の苗を配布し、植えてもらい、花を教材に生命や個性について考えてもらう機会を創出する事業。計画としては、花の配布に加え、出前講座にて花育を進めていく。

委員：獲得目標があつてのプログラムであれば、素晴らしい事業であるが、単に花を植える、街が綺麗になるという事業であるならば、もったい

ない。花を植えるだけでなく、種を採取したり、種から育てたりすることにより循環へつながり、育てるところから花育も始まっていくため、⑧花育推進事業とも連携する中で進めてほしい。

委員：ポール・スミザーさんのように八ヶ岳南麓の花の栽培等も行っている
ので、市内で活躍する方の指導いただくなど参考にしてはどうか。

所管課：了承。

⑥「地産地消商品棚設置事業」について

委員：今年度も行っているが、利用状況は。また、店舗からの要望は。

所管課：過去3年間で今年度含め11店舗21台を貸し出し、3台の残台数がある状況。要望は現在ないが、PR等も行おう中で、聞き取りしていく。

委員：店舗からの要望を受ける中で、間伐材を使って物を企画・作成することも必要と思う。

所管課：了承。

⑧「花き植栽事業」について

委員：内容と目的は。

所管課：緑化推進の一環として、市役所等の玄関スペースに四季折々の花を植栽する、植栽に当たっては市内の森林整備による間伐材を利用したプランターを使用。間伐材の利用により、循環型社会形成の一環を担い、市役所等に訪れる市民の皆様への周知・啓発を行うことが目的。

委員：四季折々の花は、一般的な園芸店からの購入ではなく、市ならではのストーリーを盛り込んでほしい。

所管課：植栽する花については、市内業者または北杜高校の生徒が栽培した苗を活用し、実施する予定。

議 長：次に「基金活用状況報告会について」の説明を事務局に求める。

事務局：報告会の必要性・目的など事業概要、経緯を説明。

議 長：質疑を求める。

委 員：質疑なし。

議 長：その他の「市民提案事業の募集時期について」について、事務局に説明を求める。

事務局：募集時期の改正について、説明。

委 員：補助金を申請する団体については、補助金が交付されなくても活動する場合と、補助金が交付されなければ活動できない場合もあるが、一般的には普段の活動から工夫し努力している活動が、補助金交付の対象となり、更に推進し活動を充実していくよう周知してほしい。

事務局：了承。

議 長：その他の「協力金依頼状況について」、事務局に説明を求める。

事務局：協力金の依頼について方法、件数、現在の申込件数を報告。

委 員：質疑なし。

議 長：その他、委員に発言を求める。

委 員：水の戦略についても、県や鉄道、高速道路SAなどと連携する中で進めていただきたい。環境保全の活動についても、自己満足だけで終わらず、PRする中で活動を広げてほしい。

委 員：北杜市環境保全協力金の制度は全国的にも稀なケースである。この協力金を活用する事業所管課は、企業や個人の協力により事業を実施できること、民間・個人と行政が協働していることを更に周知・啓発してほしい。

事務局：事業所管課については、基金の目的に沿った中で、協力金を使用して事業を実施し、検証して改善していくというPDCAサイクルが必要であり、そのためにも「基金活用状況報告会」を開催していく。

4. 閉会

午後2時40分終了